

企画経営部

1. スタッフ（2018年4月1日現在）

部長	小池 創一	
副部長	興梠 貴英	
部員	医師	35名
	看護師	5名
	医療技術職技師	7名
	事務	6名

2. 企画経営部の特徴

企画経営部は、病院執行部を補佐するための病院運営組織として、病院の管理運営に係る情報収集及び分析、情報の分析結果に基づいた企画及び経営支援、病院経営に係る改善又は検討事項の処理、病院統計及び臨床指標の作成、医療機器の適正使用に係る検証などを行っている。

3. 実績

①企画経営部会

附属病院の経営状況の説明、経営指標のミニレクチャーを行う他、各診療科の増収対策、経費削減対策についてご報告いただき情報共有を図った。

②財務分析

病院経営の現状について、診療報酬請求額(稼働額)、収入額及び医薬材料費支出の予算に対する目標達成度を作成し、収支の動向を迅速に把握、分析をするとともに、毎月、病院執行部会議及び診療代表者会議で報告を行った。

③診療科別診療実績の配付

診療代表者会議や各診療運営部における病院統計等の報告に加えて、各診療科において診療実績を振り返り、診療科主体の運営と経営改善の一助となるよう四半期ごとに実績を可視化し、過去との比較がしやすい形式でデータの配付を行った。

④診療科別稼働目標達成状況の配布

診療科毎に稼働目標を設定し、毎月の達成状況を執行部会議、診療代表者会議で報告を行うとともに、各診療科へフィードバックした。

⑤データに基づく診療科機能の可視化

診療科の繁忙度等を客観的に評価するため、平成27年度に作成した評価指標に基づき評価を行い当該科へフィードバックした。科特有の事情など指標でカバーで

きない部分は補足事項として定量的データ等を収集した。

⑥診療科ヒアリング

診療科別の稼働目標を達成すべく、各診療科とヒアリングを実施し、2017年度の稼働目標について検討を行った。

⑦医事支援会議

診療保険委員会、DPCコーディング委員会、医療材料審査委員会、医療機器委員会等の連携をとり診療報酬改定、施設基準、算定基準から見た経営改善策の検討や必要に応じて執行部会議への提言を行った。また、DPC係数の増加を図るため、施設基準の取得に向け順次準備を進め、平成29年6月25対1急性期看護補助体制加算、同年8月看護職員夜間12対1配置加算1の算定をそれぞれ開始した。

⑧各診療運営部及び関連委員会との連携

病院運営組織における課題の抽出及びその解決の方策についての検討等のため、入院、外来、中央施設の各診療運営部と連携し円滑な病院運営に注力した。

自治医科大学附属病院将来計画検討委員会、看護システム支援委員会、医師適正配置委員会などの関連委員会に参加し、立案の支援等を行った。

4. 2018年の目標・事業計画等

病院の管理運営に係る情報収集及び分析を推進するとともに運営組織間の連携を図り、円滑な病院運営を支援する。

平成30年度診療報酬改定を踏まえ、DPC係数の増加や、新規施設基準の取得に向けた検討を継続する。